

こんにちは！常陸大宮大使です

常陸大宮済生会病院名誉院長

伊東

こういち

紘一さん（岩手県陸前高田市在住）



ひたちおみや
常陸大宮
大使観①

「常陸大宮大使」は、市の魅力や情報を全国に発信し知名度を高めるとともに、まちづくりへの意見や情報を提供してもらい、市の産業・文化・観光等の振興を図るため、平成21年に設置されました。

現在35人が大使として委嘱され、今月号から不定期に大使の活動報告などを行っていきます。



済生会陸前高田診療所（仮設）



津波で町が全滅した
陸前高田市気仙町今泉

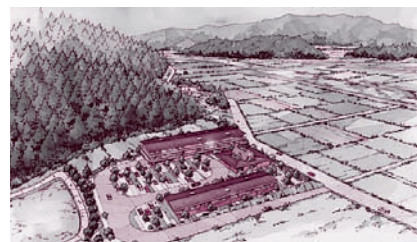
【陸前高田市での復興活動】

私は、常陸大宮済生会病院の創立時の院長としての役割を果たした後、東日本大震災で町が壊滅し、2千人近くの犠牲者を出した岩手県陸前高田市に来て、被災者のために済生会陸前高田診療所を開設しました。仮設診療所では1年4か月診療を行い、患者登録数は3千人、延べ9千人の患者を診察しました。

この地で、被災者や市民・町民に診療や健康教室等の活動を行う場合には、常陸大宮市の状況や経験などを参考にして、医療・情報提供活動を行っています。

陸前高田市は、非課税世帯が2,155世帯（全世帯の30%）あり、震災被災者証明により医療費負担の免除が1,456世帯（20%）になるため、無料低額診療事業が必要になります。また、済生会病院で診療を受けられない住民に対する支援を行うために「一般財団法人吉田記念今泉財団」を設立しています。

震災以降、仮設での診療活動を行ってきましたが、2017年1月に本設診療所が完成しましたので、今後も引き続き常陸大宮市と連携を図り、この地での医療活動の充実に力を注いでいきたいと考えています。



▲診療所と職員宿舎が今年1月完成

【仮設住宅での健康教室の様子】

健康教室の開催や、常陸大宮済生会病院を参考に、無料低額診療事業の説明などをしています。

